

## 『倫理コンサルテーション ケースブック』

- 編著／堂園俊彦・竹下 啓
- 著者／神谷恵子・長尾式子・三浦靖彦
- 定価 本体 3,600 円＋税 ●B5 判／176 頁 ●医歯薬出版刊
- 2020 年 12 月発行 ●ISBN 978-4-263-73198-7



本書は、前書『倫理コンサルテーション ハンドブック』に引き続き、実際に生じうる倫理的問題の分類に基づき、章ごとに関連基本概念とコンサルテーションの注意点を解説した、優れた「倫理コンサルテーション支援書」である。私は普段はロースクールで教鞭に立つ法律家であるが、外部倫理コンサルタントとして数十の臨床現場で年間 150 件を超える倫理コンサルテーションも実施している。この立場からすると、次のような点は、とてもガッテンがいく。

「患者の意思決定能力が低下している場合に、家族等から文書による同意を得るように病院の規則において定められていない医療行為について、家族等への説明が不十分になりがち」(5 頁)など、臨床で倫理コンサルを重ねないと見えてこない風景を指摘する記述。

「末期腎不全患者は、医学的には人生の最終段階ではない」「終末期でもない」(25 頁)と、普段うつつら思いながら、言い切るにためらう問題を的確に指摘する記述。

「意思決定能力を評価するさいには、本人の持つ能力を最大限発揮できるように支援しなければならない」(45 頁)と、「認知症の人の日常生活・社会生活の意思決定支援のためのガイドライン」(厚生労働省)を取りまとめた私の立場からいうと、それこそが、最大の問題であり、「よくぞ言ってくれた」という記述。

脚注にも「医療安全は、医療者を紛争から防ぐもの」という誤った理解を広めるという指摘もあり、最近では「患者安全」(patient safety)と表記される」(74 頁)と、まさに医療安全に倫理的視点が欠如していることを象徴的にとらえる箇所など、単なる「ヒント」だけではなく、隠れた問題を指摘する部分がたくさん示されている。

執筆者は、5 名の専門家であり、普段から共通認識を共にしているので、表記にぶれはなく、倫理コンサルテーションを実践した者であれば、一気に読めるであろう。

もっとも、いくつかの点について、よりよき指南書となるために、私から見た無理な注文をお願いしよう。一つは、医療の現場で陥りがちな、患者の意思決定を尊重する(いわゆる自律の)原則と患者の最善の利益との関係で、自律のルールが最善の「利益」に置き換えられることの危険や、家族の位置づけ

に関して、家族(代諾者・代弁者)には、「患者の推定的意思」を伝える範囲でしか権限がないとするメッセージをより明確に示して欲しかったと思う。

また、断続的生命維持治療と持続的生命維持治療とを分けて、「前者に患者が同意しない場合は、次の治療の開始に同意が得られない場合と考えることができ、患者の終末期であることは必要な要件ではなくなる」(21頁)という表現には、異論もあるだろう。

事例(ケース)の提示は、類型化することで、INDEXとしての価値は高くなっている反面、事例には同じものではなく、倫理コンサルタントの、事例のもつ「具体性」と「抽象性」との間を行ったり来たりするダイナミックさ、立ち止まって同じように見える事例へ深く関わる大切さへの配慮は将来の課題となろう。加えて、医療の文化(端的にいうと医師の文化)への切込みがより欲しかったし、全編を通じて「紛争」への言及が多く、私が行う倫理コンサルとは大分違うなという感想も持たずにはいられない。

と辛口のことを記載したが、本書を読んで倫理コンサルテーションもここまで来たのかと嬉しく思うと同時に、この後は本書に触発されて、いくつかの試みが競い合い、「的確な人材を育て」「どこまで現場を支えるか」「倫理コンサルとはどのような質を保つべきか」などについて、改めて考える機会となることは請け合いである。まずは、皆さんに手にとってほしい。

(稲葉一人／中京大学法務総合教育研究機構教授・元判事・日本臨床倫理学会副理事長)

## 次号の特集予告

276巻9号(2021年2月27日発行)

### 新型データ駆動型サイエンスの起動

企画：宮野 悟(東京医科歯科大学 M&D データ科学センター長)

- ・医学・生命科学研究はその歴史においてとてもユニークな状態に入ろうとしている。第1の要因は大規模・高精度データの出現である。古来からの方法論に加えて、データ駆動型の科学が相対的に重要になってきた。
- ・第2の要因はデータ科学、とくに AI 技術応用の登場である。人海戦術では不可能なデータ解析を、高精度・高速に実現できるようにしている。
- ・そして、ますます重要となっていることが、ELSI(倫理的・法的・社会的課題)という学問を成熟させることである。本特集ではこのメッセージを“新型データ駆動型サイエンス”とよぶ。